

南浜中だより

# 海鳴

## 【教育目標】

深く考え 心豊かに  
実践する生徒  
生徒数 112名(4/1現在)  
平成29年4月30日(日)  
新潟市立南浜中学校

HP  
<http://minamihama-j.blog-niigata.net/>



## 朝のハイタッチでさわやかコミュニケーション



## あいさつが遠くなる

校長 和泉 哲章

朝、生徒玄関で登校する生徒を見ていると、とても気持ちのいいあいさつが交わされています。特に1年生は、初々しい制服姿で、遠くから元気よく「おはようございます」とあいさつをしてくれます。生徒会の皆さんがあいさつ運動で生徒玄関に立って来ています。

大きな声が出ること、遠くからあいさつをしてもらえること、そしてハイタッチをしながらあいさつを交わすことは、すばらしいことだと思っています。大きな声が出ることは、心の健康のバロメーターの一つです。心が解放されている証拠です。

遠くからあいさつができることは、心理的距離、人間関係が近い表れではないかと考えています。お互いの心の距離が近づくと、遠くからあいさつをしたり、声をかけたりできるようになります。逆に関係が遠かったり悪かったりすると、あいさつはおろかぶつかっても声が出ません。

そして、ハイタッチ。1年生ははじめ戸惑ったり、恥ずかしそうにしたりしていましたが、今では慣れて、笑顔でハイタッチする様子がみられます。ハイタッチは、相手との親和感や共感を高める効果があります。ポジティブな一日の始まりにふさわしいすがすがしい様子をうれしく思っています。

あいさつは、新しい世界へ入っていく決意や意思の表示という面があるように思います。新しい場面に向かうとき、知らない集団に入っていくとき、「おはようございます」、「こんにちは」、「よろしくお願ひします」という言葉は、自分自身の心を奮い立たせ、「よし、がんばるぞ」という高めてくれます。あいさつは、外の人たちへの働きかけというだけでなく、自分自身の内なる心への働きかけであり、決意の表れという面があります。部活動でのあいさつも同じです。

福井県に永平寺中学校という中学校があります。そこの生徒は、登下校の時、校門で向き直り、校舎の向かって一礼するというのが伝統になっているとのこと。以前、テレビで見て心に残りました。これも決意と感謝の表し方でしょうか。よい習慣としての「形」を作るとともに、「形」をとおして、その意味を考え、心豊かな生活と人間関係につなげていきたいものです。



# 麻薬の恐ろしさを知り、安心安全な社会を守る

4月26日(水)東京税関の方をお招きして、薬物乱用防止の特別授業を行いました。新潟空港や新潟東港が近くにある当校ですが、税関がどのような仕事を担っているかについて知る機会はありません。

授業ではまず麻薬の恐ろしさについて説明がありました。麻薬は所持しても使用しても犯罪です。麻薬は依存性が高く、本人の心と体をむしばむばかりか、家族や周囲の人を傷つけ、安心安全な社会を壊してしまう。そして、中学生でも誘われたり、使用したりする数が増えていて、決して遠い存在ではなくなっているという説明がありました。最近では、本人が気づかないうちに麻薬の運搬人となっていることがあり、友人や知人から荷物を預かって運ぶことがないよう注意がありました。

講義の後、体育館で2頭の麻薬探知犬による実演を見ました。犬は成田空港から来ました。実演では生徒も加わり、バッグの中の麻薬のにおいを見事に嗅ぎつけました。この特別授業には、地域の方も13名参加していただきました。



## 危険な麻薬、新潟県でも

3年

さん

授業をとおして麻薬は、とても危険で、私たちの身近にも存在していることがわかりました。私は都会での出来事と思っていましたが、新潟県でも1年に100件以上の麻薬に関わる事件があることを知りました。さらに中学生でも麻薬を使用したことがあるという数が増えていることにとっても驚きました。誘われた人も少なくありません。誘われたらどうやって断ろうか。きちんと断れるようにしなければならぬと思いました。

## 関係ないと思っていたけれど

2年

さん

麻薬は自分には関係ないと思っていたけれど中学生のアンケート結果を見て、中学生でも麻薬を使ったり、誘われたりしている人がいっぱいいて、自分も誘われるかもしれないと思いました。麻薬は依存性があって、やめられなくなる魔力があって、心と体が壊れてしまうことがわかりました。麻薬関係の人や店に近づかないことが大事だと思いました。麻薬探知犬の実演では、1回位間違えるかと思いましたが、1回も間違えず、すごいと思いました。

## 麻薬、大麻、危険ドラッグの恐ろしさ

1年

さん

今日わかったことは、「麻薬」「大麻」「危険ドラッグ」は非常に危険ということです。一番驚いたのは、こういう薬物を使ったことがある中学生がいることです。私は誘われても絶対に断ります。

麻薬探知犬の実演では、「箱の中」「バッグの中」でも正確においを嗅ぎ分けていました。においに反応すると、その場に座って合図をくれるというのがすごいと思いました。麻薬、大麻、危険ドラッグの危険性と麻薬探知犬のすごさを実感した授業でした。

## おみやげを頼まれた事件から

1年

さん

麻薬の経験者は、42人に1人くらいの割合にいるというのは驚きました。「麻薬の売人」は麻薬がほしくなるように誘ってくるのが怖いと思いました。

外国へ行って仲良くなった人から日本へおみやげがあるから渡してほしいと頼まれて、逮捕された事件を知りました。まさか麻薬があるとは思いません。今回の授業で今までわからなかった麻薬や覚醒剤、大麻のことがよくわかってよかったです。

## 安全で充実したGWを過ごしましょう！

いよいよゴールデンウィークが始まりました。部活動の所属も決まり部活動で汗を流す人、家族と出かける人、友達と遊ぶ人などいろいろな過ごし方をするでしょう。4/27付けで「大型連休中の交通事故・水難事故等の未然防止について」というプリントを配布しました。例年、この時期は、気候がよくなり活動が活発になるため、交通事故や水難事故の発生が心配されます。また、目的もなく商業施設を徘徊したり、友人宅に外泊したりすることが、問題行動の温床になることがあります。GWの過ごし方について家族で話し合い、安全で充実したGWを過ごしましょう。

